



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 109 号(2015 年 5 月 8 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

---

ゴールデンウィークはどのように過ごされましたでしょうか。  
気がつけば、新緑の眩しい季節になりました。

#### 目次

- 新任ごあいさつ
- 法学部からのお知らせ

- 
- 新任ごあいさつ

---

#### ○上神貴佳 教授

はじめまして。今年の4月に着任しました、上神貴佳（うえかみ・たかよし）です。谷聖美先生の後任として、政治過程論を担当しています。四国は高知大学から来ました。父親の転勤で引っ越しを繰り返してきましたが（小学校は三回変わりました）、関西では大阪にごく短い間、幼少の頃に住んだことがあるだけでした。それ以外は関東でしたから、中四国地方での勤務が続くのは不思議なご縁ですね。

両親は広島出身ですから、親戚も岡山より西に多く住んでいます。お隣の広島大学では伯父が、香川大学では妻が教えていたことがあります。いまも神戸大学と山口大学にはいとこたちが勤めています。みな専門分野も違うのに、山陽本線と土讃線沿線の大学に集まってくるのは、「土地の磁力」のようなものでしょうか。

「土地の磁力」といえば、とくに瀬戸大橋の開通後、中国地方と四国地方の結節点としての岡山の存在感が大きくなったと、みなさんもお感じではないでしょうか。これまで関西方面に用事があるときは、私も高知から岡山乗り換えを選ぶことが多かったように思います。こうした地理的な条件がその土地の政治、経済、社会、文化に与える影響、それが生み出す多様性を無視できません。しかし、東京から見ると、「地方」というひとくりにされたカテゴリーのなかに、中心と周辺のグラデーションのどこかの点として、位置づけられるに過ぎないのかもしれない。

私にとっての「地方」勤務の魅力は、こうした画一的な見方から逃れられることにもあります。東京の永田町や霞ヶ関だけをみて日本政治を語るのではなく、（東京も含む）多様な「地方」が構成する日本政治としてとらえ直す。こうした研究上の視点の転換だけではなく、さまざまなバックグラウンドを持つ教職員や学生のみなさん、住民のみなさんとの交流、おいしい郷土料理との出会いも魅力に含まれることはいまでもありません。どのような邂逅があるのか、とても楽しみにしています。

岡山は高知ともかなり違うのではないかという予感がします。人口規模が大きく、政令市であること、交通の要衝であること、古代からの歴史を感じさせる土地柄であること、挙げていけばきりがありません。高知が私の第二の故郷になったように、きっと岡山のことも好きになると思います。

岡山大学で勤務できることを、とてもうれしく思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

4月1日付で、岡山大学法学部に着任いたしました、山田哲史と申します。専門は憲法で、グローバル化時代の国内統治構造が院生時代以来の研究テーマです。最近、議会と裁判所の機能分担という点から発展して、憲法訴訟論や刑事訴訟法との境界領域にも関心を広げております。

これまでの来し方(というほどのものではありませんが……)を簡単に振りかえっておきますと、出身は愛知県で、名古屋のベッタタウンである春日井市というところで生まれました。1歳から3歳の間アメリカで過ごした(残念ながら、ほとんど記憶も残ってなければ、英語が身につくこともありませんでした)他は、高校卒業まで愛知で過ごしました。大学からは、10年間京都で「お客さん」をさせていただいて、前任校の帝京大学在職中の2年間は東京にいました。そんなわけで、言葉のイントネーションもチャンポンですが、母親がもともと関西出身なのと、自分で主体的に動くようになってから、人生の三分の一に当たる10年間を京都で過ごしていますので、関西の方がどう思われるかは別として、個人的には、実は愛知・名古屋よりも関西に愛着を感じていたりします。

残念ながら、岡山をはじめとする中国地方には、旅行で何度か訪ねたことがある(ちなみに、私はどちらかといえばよく旅行に行く類の人間です)以外は、これまでご縁のない人生でしたが、縁あって、伝統ある岡山大学法学部のスタッフに加えていただいたわけですので、今後は、岡山に骨をうずめる覚悟で精進していきたいと思っております。

「岡山に骨をうずめるキャンペーン」の一環として、まずは、岡山のいろいろなところを探索してみたいと考えています。とはいうものの、基本的にはものぐさな人間で、何かきっかけがないと動けないところもあり、皆さんにはぜひ色々声をかけていただいて、岡山について教えていただけたら幸いです。

とりとめのない、ご挨拶になってしまい恐縮ですが、どうかよろしく願い致します。なお、ゼミを除けば、法学部の学生さんに授業でお会いするのは、後期以降になってしまいますが、もちろん、学生の皆さんとも親しくさせて頂けたらと思っておりますので、声などかけていただければ幸いです。

○ 法学部からのお知らせ

☆ケント大学交換留学説明会

岡山大学法学部とケント大学政治学・国際関係学部間の学生交換協定に基づく、2016年度ケント大学交換留学生の募集について説明会を行います。

日時： 5月13日(水) 12:00~13:00

場所： 文法経講義棟15番教室

[http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/news/news\\_id4494.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/news/news_id4494.html)

☆岡山大学公開講座

法学部では、岡山大学公開講座「グローバル化する社会と法」を開催します。

対象者： 高校生、大学生および一般の方

募集期間： 5月27日まで

開催日時： 6月27日~7月25日までの土曜日(5日間) 13:30~15:30

会場： 文化科学系総合研究棟2階共同研究室

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/society/koukaikouza.html>

- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
- ・本メルマガには返信なさらないようお願いいたします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いいたします。  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp) まで。